

◆症例検討

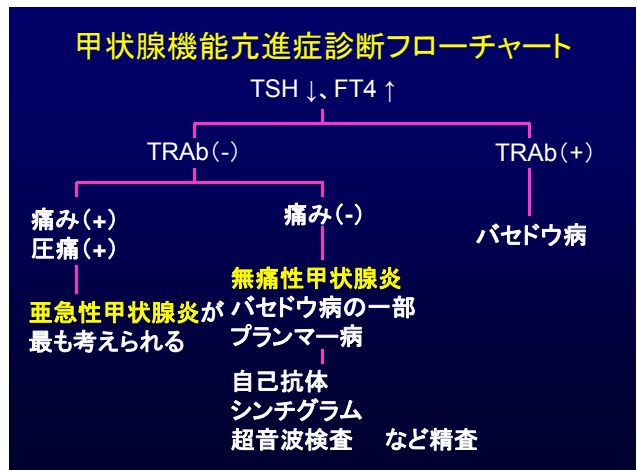
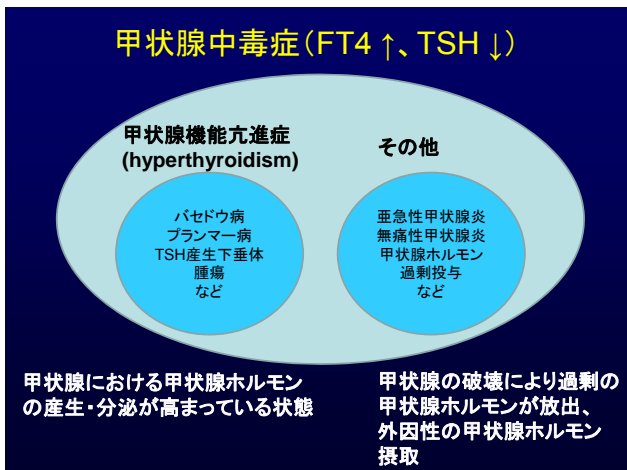
テーマ 「一過性甲状腺機能異常を呈した数例」
 講師 内分泌代謝科医長 勝田 裕子 先生

一過性甲状腺機能異常を呈した
数例

福井県立病院内分泌代謝科
勝田裕子

主な甲状腺疾患における甲状腺ホルモン値(FT4)と
甲状腺刺激ホルモン値(TSH)との関係

		TSH	
		高値	低値
FT4	高値	TSH産生腫瘍 甲状腺ホルモン不応症	バセドウ病 無痛性甲状腺炎 亜急性甲状腺炎 プランマー病
	低値	原発性甲状腺機能低下症	中枢性甲状腺機能低下症



- 亜急性甲状腺炎の診断ガイドライン2010
- (a) 臨床所見
 - 有痛性甲状腺腫
 - (b) 検査所見
 1. CRPまたは赤沈高値
 2. 遊離T4高値、TSH低値(0.1 μU/ml以下)
 3. 甲状腺超音波で疼痛部に一致した低エコー域
- 1) 亜急性甲状腺炎
- a) およびb)の全てを有するもの
- 2) 亜急性甲状腺炎の疑い
- a)とb)の1および2
- 除外規定: 橋本病の急性増悪、嚢胞への出血、急性化膿性甲状腺炎、未分化癌

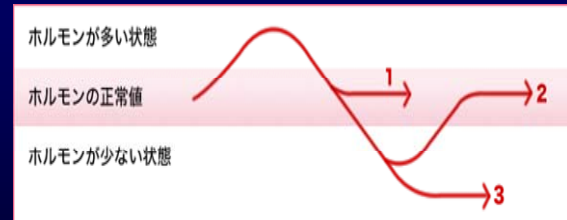
- 無痛性甲状腺炎の診断ガイドライン2010
- (a) 臨床所見
 1. 甲状腺痛を伴わない甲状腺中毒症
 2. 甲状腺中毒症の自然改善(通常3ヶ月以内)
 - (b) 検査所見
 1. 遊離T4高値
 2. TSH低値(0.1 μU/ml以下)
 3. 抗TSH受容体抗体陰性
 4. 放射性ヨード(またはテクネシウム)甲状腺摂取率低値
- 1) 無痛性甲状腺炎
- a) およびb)の全てを有するもの
- 2) 無痛性甲状腺炎の疑い
- a)の全てとb)の1~3を有するもの
- 除外規定: 甲状腺ホルモンの過剰摂取例を除く。

無痛性甲状腺炎の診断ガイドライン2010

付記

- 1.慢性甲状腺炎(橋本病)や寛解バセドウ病の経過中発症するものである。
- 2.出産後数か月でしばしば発症する。
- 3.甲状腺中毒症状は軽度の場合が多い。
- 4.病初期の甲状腺中毒症が見逃され、その後一過性の甲状腺機能低下症で気付かれることがある。
- 5.抗TSH受容体抗体陽性例が稀にある。

破壊性甲状腺炎の経過



原発性甲状腺機能低下症の分類①

【原因】

(1)後天性

- ①自己免疫性:慢性甲状腺炎(橋本病)、阻害型TSH受容体抗体、IFN療法後など
- ②ヨード過剰
- ③甲状腺手術、放射線外照射、アイソトープ治療後
- ④破壊性甲状腺中毒症の回復期(無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、産後甲状腺炎など)
- ⑤浸潤性病変(悪性リンパ腫、アミロイドーシスなど)
- ⑥薬剤の服用(抗甲状腺剤、アミオダロン、リチウム製剤など)

(2)先天性

- ①ホルモン合成障害(有機化障害、Na/Iシンポーターの異常など)
- ②先天性の甲状腺無形成や低形成、異所性甲状腺腫

原発性甲状腺機能低下症の分類②

【持続期間】

(1)一過性

- ①無痛性甲状腺炎の甲状腺機能低下期
- ②産後一過性甲状腺機能低下症
- ③クッシング術後一過性甲状腺機能低下症
- ④過剰ヨードによる一過性甲状腺機能低下症
- ⑤薬剤によるもの

(2)永続性

- ①橋本病
- ②アイソトープ治療、甲状腺摘出など

【重症度】

(1)顕性

- (2)潜在性 TSHのみが軽度高値、甲状腺ホルモン値は正常。

ヨード誘発性の甲状腺機能低下症

- ヨードを過剰摂取すると、ヨードの有機化が抑制され甲状腺ホルモン合成の抑制がかかるが(Wolff-Chaikoff効果)、やがて甲状腺へのヨード輸送が低下するescape現象が起こり、甲状腺ホルモンの生成量は正常範囲に維持される。
- このため、通常は多少ヨードを過剰摂取していても甲状腺機能低下にはならない。
- しかし健常人の一部や慢性甲状腺炎などをもつ者が大量のヨードを摂取していると、Wolff-Chaikoff効果からのescape現象が起こらず、次第に甲状腺機能低下症になってしまう。
- 海藻の大量摂取者、根昆布療法の実用者や、ヨードを含有した含嗽剤の常用者にしばしばみられる。
- 一般にWolff-Chaikoff効果が発現するのは、1日5~10mg以上のヨードを摂取した場合とされている(日本人の基準は3.0mg/日)。
- ヨード誘発性の甲状腺機能低下症は可逆的性なので、大量のヨード摂取を中止すれば、迅速にeuthyroidとなる。

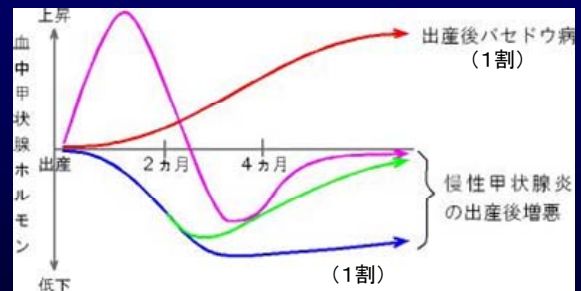
ヨード誘発性の甲状腺機能低下症を起こしやすい人

- 橋本病
- バセドウ病^{131I}治療後・亜全摘後
- 亜急性甲状腺炎
- 出産後甲状腺機能異常
- Cystic fibrosis
- 気管支喘息
- リファンピシン、リチウム、サルファ剤などの服用者

根昆布

- 食用海藻中でヨードが最大なのは昆布であるが、通常の昆布の摂取法(だし、佃煮など)ではヨード摂取量は少ない。
- しかし近年、昆布の新規な食べ方が開発されており、昆布中のヨードのほとんど全てを摂取する機会が出現している。
- 根昆布とは昆布の葉の下部と茎の上部の部分の部分を指す。根昆布には多量のヨードが含まれている。
- 根昆布を水に漬け込んだ根昆布水は、糖尿病、高血圧、脂質異常症等への効果が盛んに宣伝されており、習慣的摂取によりヨード過剰になりうる。

出産3ヶ月以内に発症する甲状腺中毒症は破壊性甲状腺炎が多い。



多くは一過性で6ヶ月以内に機能正常に復する。

臨床で経験する一過性の甲状腺機能異常(機能更新および低下症)について実際の臨床例を提示しての解説でした。亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎などとバセドウ病との鑑別については、2010年に出された診断ガイドラインの紹介と分かりやすいフローチャートが提示されています。また甲状腺機能低下症については2枚のスライドで分類がしめされ、実際の臨床例の提示がありました。また“根昆布”によるヨード誘発性甲状腺機能低下といった珍しい症例、産後甲状腺異常とよばれる破壊性甲状腺炎、慢性甲状腺炎の出産後増悪といった例も紹介されました。